



## コンセプトチャルスキル / 1日研修

Revised

# デザイン思考

デザイナー視点の創造的な思考力を  
体験を通して身につけよう

### ▶ 本研修の概要とねらい

- ① デザイン思考の基本的な考え方を、体験を通して学び、全体像をつかむ
- ② デザイン思考を活用した実際のイノベーション事例を知る
- ③ デザイン思考のプロセスを最後までやってみることで、本質的な理解を深める

### ▶ 主なコンテンツ

近年、注目されるデザイン思考。「デザイン」や「思考」の本質を理解したうえで、ワークショップ形式で、デザイン思考のプロセスを最後までやってみることで、体験的に学ぶ。

### ▶ 演習/実習の内容

#### 【グループワーク】

- ・思考のウォーミングアップ
- ・リフレーミング
- ・デザイン思考によるイノベーション事例
- ・行動観察ワーク
- ・模擬テーマによるデザインワークショップ

### ▶ 受講対象(推奨)

全職員

### ▶ 講師からの一言

デザイン思考には、「考える」「観察する」「発想する」といった、仕事を進める上で普遍的な要素がつまっています。デザイナーの創造的な思考様式を学んでみませんか？



一般社団法人 日本経営協会講師  
北野 清晃(きたの きよてる)

大学院を修了後、都市計画コンサルティング会社に入社。自治体の計画策定業務やまちづくりワークショップの企画運営に携わる。その後、人材育成を支援する公益法人に入職。企業や自治体の研修やセミナー、シンポジウム、委員会等の企画業務に8年間従事する。同社退職後、実家の中小企業支援に取り組むとともに、京都大学大学院にて、経営学やエスノグラフィー等の観察手法を学ぶ。

現在は、組織デザイン、サービスデザインの研究活動に取り組むとともに、企業や自治体にて研修/ワークショップの企画、講師/ファシリテーターとして活躍している。

博士(総合学術)、専門修士(経営学)・修士(工学)、中小企業診断士、一級建築士、一級販売士、ビジネスコーチ、キャリアコンサルタント

著書に『組織論から考えるワークショップデザイン』などがある。

# デザイン思考

## 1日研修タイムテーブル案

講義テーマ	主なコンテンツ
1. はじめに (1) アイスブレイク・自己紹介 (2) 学習目標と進め方	☞ 学ぶための場と関係性をつくる
2. 思考とデザイン (1) 思考のウォーミングアップ (2) 既存の枠を広げる(リフレーミング) (3) デザインとは (4) デザインの射程	☞ 「思考」と「デザイン」について本質をつかむ まず、「思考」する際の重要な考え方を体験ワークを通して理解する  ☞ 「デザイン」の本来的な意味や、最近のデザインアプローチについて具体例とともに紹介する
3. デザイン思考とは (1) デザイン思考の多様な定義 (2) デザイン思考の活用事例 (3) デザイン思考の4つのポイント	☞ デザイン思考の定義とポイントをおさえつつ、 デザイン思考を活用したイノベーション事例を紹介する
昼食休憩	
4. デザイン思考の起点となる観察技法 (1) エスノグラフィー (2) 文化の記述方法 (3) 行動観察ワーク	☞ デザイン思考の起点となる行動観察技法(エスノグラフィー)について、実際のフィールドメモの取り方や、観察する際の視点の工夫について理解する 実際にフィールドワークに行く、もしくは、ビデオによる観察ワークで観察スキルを高める
5. デザイン思考のプロセスをやってみる (1) 定義とステップ (2) ステップ1「共感・理解」 (3) ステップ2「定義・明確化」 (4) ステップ3「アイデア開発・創造」 (5) ステップ4「プロトタイピング」 (6) ステップ5「評価・フィードバック」	☞ 模擬テーマを使って、デザイン思考のプロセスを最初から最後まで実際にやってみる ワークショップ形式でチームで行う。
6. まとめ	

### ■ 本研修を受講した研修生の感想

☞ デザイン思考は新しいものだと思っていたが、実は普段の仕事で必要不可欠な要素が多く、日々の仕事でも活用できると思った

☞ 普段の仕事の進め方が論理性に偏っていることがわかり、思考の幅が広がった。

☞ 新しい企画やプロジェクトの際に、大いに活用してみたいと思った。

### ■ 本研修コーディネーター担当者からのワンポイントメッセージ

☞ ミニクイズや、ペア・グループワークなど豊富な演習を採用しています。  
受講生が、自分事として考える場、お互いに学ぶ場をつくります。

## 本研修に関するお問い合わせ

一般社団法人 日本経営協会 関西本部  
〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4(大阪科学技術センタービル)  
電話 06-6443-6925 FAX 06-6441-4319  
URL <http://www.noma.or.jp>